

ふると じまん

わたしのお気に入り

東京都 目黒区



カメラを携え 目黒駅から中目黒駅まで お花見ロード散策へ

小 枝 義 典
(昭和59年卒)

JR目黒駅では毎年春、改札前に「ここは目黒駅で中目黒駅ではありません」という大きなポスターが貼られます。春爛漫外国人を含めて多くの観光客が連日の満開桜報道に『花見』を兼ねて散策に訪れ、戸惑っているからです。

目黒区は長い年月をかけて川沿いの桜の整備に取り組んできました。古木を剪定し景観と安全を目標に、やっとここ10数年注目のスポットになったわけです。桜並木は品川区である五反田から数キロ上流中目黒をすぎるあたりまでが川沿いお花見散策路として賑わっていますが、川幅と枝ぶりのインスタ映えはやはり東横線中目黒駅近くがベスト。連日テレビや雑誌の取材で大いに盛り上がっています。しかし一文字足りないJR目黒駅前では桜どころか目黒川の場所さえ分かりにくいのです。戸惑う気持ちはわかりますが「駅前から満開だって聞いたのに(怒)」という反応には、少々苦笑いしてしまいます。

JR目黒駅は東口と西口に分かれており東口には都営バスロータリーそしてその先には山の手の雄「白金台」が控えています。西口はロータリーもなく、多くの東急バスが折り重なるように停車しています。中目黒に向かう公共交通は西口、バス停は少し離れていて1時間に2.3本(黒9)野澤龍雲寺循環というバスしかありません。徒歩では約20分です。

駅をはさんで、西側目黒通り道路は坂の上り下りの自動車一方通



1 桜 ほぼ満開

行が2つに分かれ大きな三角地形を作っています。上り側の三角地には知る人ぞ知るスターバックス本社と直系ショップ。対面には新しいイトイン付きのパン屋さんがおしゃれです。その少し上には懐かしさを感じる2本だて映画館「目黒シネマ」が地元の人気で支えられています。余談ですが、目黒区青葉台にできた「スターバックス リザーブ ロースタリー 東京」を探す難民もJR目黒駅に出没し始めています。坂の降り側左には大きな看板の「ドン・キホーテ ピカソ」が見えてきます。その横の小道には懐かしく思われる方も多い有名店「とんかつ とんき」がいまだ健在。4時の開店時には入店待ちの列ができて



2 スターバックス 権之助本社ショップ



3 行人坂下 4 行人坂上入口より 5 行人坂上 6 急坂
左：行人坂 右：権之助坂 7 賑わう権之助坂商店街

います。またその並びには有名芸能事務所「ホリプロ」があり、付近ではタレントさんがお食事されている姿もよく見かけます。

さて、本通りの坂は「権之助坂」と言われています。この由来については、下り坂と平行に左側「ホテル雅叙園」に向かう奥まった急坂にあります。江戸中期、この行人坂といわれる急坂があまり

に過酷ということで、当時の罰極刑を顧みず許可を得ないまま脇に緩やかな「権之助坂」を造成。彼は打ち首になりますが刑場に引き立てられる前、坂の上で満足げな笑顔で振り返った、というお話が伝えられています。2つの坂を実際にご覧になり荷車を押していることを思うと“権之助さん”に対する地元住民の敬意と感謝そして

いつまでも忘れない大切な気持ちを実感します。さらに、その行人坂途中に「大圓寺」というお寺がありそこに500を超える羅漢像が並んでいます。これは江戸3大火の一つ1772年明和の大火で亡くなった1万5千人余の慰霊のため建立されました。その火は千住、浅草まで広がったといわれています。少し坂を下り左には記念写真のメッカ「ホテル雅叙園」が見えます。このあたりには目黒川にかかる太鼓橋があります。このあたりは紅葉でも有名で、私の好きな池波正太郎作品には橋のたもと「太鼓鰻（現在はありません）」の話がよく出てきております。実は目黒の桜はこのあたりが一番早く咲いていきます。

さてそこから右に曲がり川に沿って上って行きます。昭和40年代に建てられた当時話題になったお城の建物を左に眺めつつ目

8 目黒新橋から川上に向かって満開 9 大圓寺 10 五百羅漢 11 太鼓橋から雅叙園を臨む
12 目黒新橋から目黒駅方面を臨む 13 目黒新橋より川上 今年これから





14

14 Street Rugby模様

黒通りに出たところに石造りの立派な「目黒新橋」があります。この橋からの眺めは川上向き、川下向き共に映える写真スポットです。橋から少し目黒通りを下った先には酉の市・熊手で有名な「大鳥神社」があります。交差点近くにある和菓子屋「玉川屋」さんでは近隣のお祝い事があると必ずこのお赤飯か紅白饅頭を頼みます。大鳥神社交差点から更に目黒通りを西に元競馬場方向に向かう通りは現在「目黒インテリアストリート」として発展。約60店舗のショップが連なります。4月末には「目黒マルシェ」

というイベントも開催されているようです。ご興味がある方はお立ち寄りください。

さて、元に戻り目黒新橋から目黒通りを見上げますと、両側とも多くの飲食店が並んでいます。特に左側は谷という土地の形状もあり大型店舗は建てられませんが夜になると活気にあふれたお店で賑わいます。特にこの付近を中心に多数のラーメン屋さんが乱立し、しのぎを削っています。

目黒新橋からは、川上に向かい中目黒駅まで歩いて15分。川沿い左に区民センターテニスコート屋外プールそして新しく完成した壁画（ポーランド大使館と世界平和を祈念し共同制作された）を遠く見ながら散策路を歩くと最初の橋が「目黒ふれあい橋」。先日ラグビーワールドカップの余韻も冷めやらない11月、目黒商工まつりのイベントで『Street Rugby in目黒』というイベントを大勢の子供たちと楽しんだところです。この横の広場では毎年「さんま祭り」を行っていて、当日は近所中さんの煙で大変なことになっています。実はその直前で行われる

目黒駅前の「目黒のさんま祭り」は品川区で、本家目黒区は堂々と受けて立つ感じ（品川の先生ごめんなさい。ちなみにJR目黒駅は品川区です）。この話の元になっている「目黒のさんま」の逸話は江戸時代徳川家光がお鷹狩りの際、立ち寄った“爺が茶屋”でのエピソードをモチーフにした落語が元になっています。ただ、来場される参加者の多くは“なんで秋刀魚で目黒なの？”という方も多いようです。

次の橋「田道橋」からはひときわ高い煙突が右に見えてきます。先日全面改装が終わった都市型の清掃工場です。住宅地に高性能の焼却施設は珍しいらしく、海外からの賓客、特にVIPの奥様が施設見学としてよく訪れられます。清掃工場の横の坂は新茶屋坂といい、この坂を上ると「恵比寿ガーデンプレイス」。クリスマスには大変な人だかりで、私たち家族も毎年飾られる“バカラのシャンデリア”を楽しみにしています。さて戻って目黒田道橋そして中里橋を超え川沿いに歩くと、そろそろおしゃれなテラスレストランなど

15 区民センター平和記念壁画 16 秋刀魚の煙 17 目黒さんま祭りポスター



15



16





18 なかめ公園橋



19



20



21

19 目黒川舟入場水鳥 20 目黒川舟入場より
中目黒方面 21 目黒川舟入場

が目に入ってきます。そこからは新しい橋「なかめ公園橋」が見えてきます。この橋は変わった形状の歩行者専用橋ですがロケーションが素晴らしく、よくドラマやCMで使用されています。そこからしばらく「田楽橋」を超え山手通り側を歩くと「目黒川舟入場」という広場に出てきます。ここであまり船を見たことはありませんが、これより上流は浅瀬で川幅が狭くなるため船の出入りはできないようです。この広場はお花見絶景ポイントでもあり普段でもキッチンカーやフリーマーケットなども出ていて、週末は多くの人を楽しんでいます。隣には大きな「ニトリ」もあり家族連れが多い印象です。舟入場周辺には最近、川鵜、鴨など野鳥が集っていて自慢の一眼レフで撮影しているマニアさんも多くいらっしゃいます。ここ数年目黒川の浄化運動が実り、透明な水面に様々な魚が遡上している様子も見られるようになりました。実はこの舟入場地下には、過去何回も氾濫した目黒川洪水対

策として舟入場調整池が隠されています。貯留量 55,000m³。平成3年から28年まで9回の流入実績があり、水害抑制に活躍してくれています。

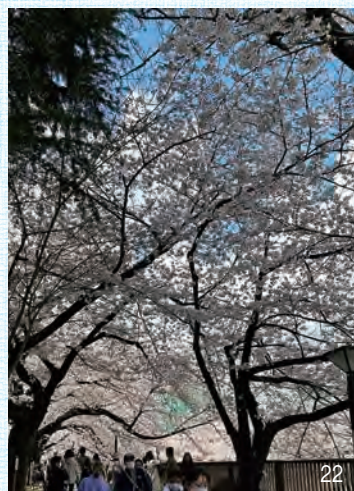
さて、このあたりまで来ると駒沢通りを超えて中目黒が見えてきますが、通りの手前側が最近注目の隠れたグルメスポット。川沿いの瀟洒な古民家カフェや和食、ジンギスカンも結構有名です。そして駒沢通りを渡ると皆さんご存知のお花見客でごった返すエリアに

なります。中目黒駅周辺はガイドマップにお任せしますが、警備員も配置され地元の方は満開時には近寄りません。散策するなら、葉桜、花筏が川面に浮かぶ頃がよいでしょう。

目黒区は、住んでみたいランキングで常に上位。人口も少子化を懸念する日本の中では増加中の28万人。20年前は確か25万人とっていたので驚きの数字です。確かにワイドショーでは目黒の飲食店を紹介しない日はないので好感度が高いのも頷けます。しかし、南北に広がっている目黒区、北は駒場から南は自由が丘まで様々な街並みを形成しています。今回は、桜の季節を前にニッチな目黒駅から中目黒駅までお散歩コースを“インスタ映え”的観点でご紹介しました。

今回のコース周辺にはまだまだご紹介しきれない文化的史跡やグルメもたくさんありますので、お天気のいい日には是非お越しいただければと思います。

22 青空に映える桜 23 花筏



22



23